

伊藤長兵衛家文書目録(後発見分)

凡 例

一、本目録は、2012年3月に犬上郡豊郷町八目にあった旧豊郷病院宿舎で古川博康氏が発見され当館に搬入された279点と、伊藤長兵衛家のご子孫である伊藤信吉・秀子ご夫妻より預かり受けた14点を合わせ、2016年に寄贈された伊藤長兵衛家文書後発見分293点の目録である。

一、目録の項目は、年月日・文書名・備考・頁数・請求番号である。

一、年月日は、史料の作成年月日をとった。作成年月日が明記されていない場合は、本文等から推測した年代を（ ）で記した。

一、文書名は、原題をとり、適宜（ ）で内容を補足した。原題のないものについては、〔 〕で文書名を付した。

一、備考では、差出宛名を「差出→宛名」と表記したほか、本紙・付属物等に関する特記事項を記した。絵図・民俗資料については、法量をタテ×ヨコで表記し、単位cmは省略した。

一、頁数は、一紙を「通」、一穴綴を「綴」、二穴以上の綴を「冊」（但し、複数の文書を合綴しているものは「綴」）、絵図・写真・民俗資料を「点」、包紙・封筒・帳外れ等を「枚」とした。

一、旧字体・異体字・俗字は常用漢字に改めた。

一、紙幅の都合上、住所に「近江国」「滋賀県」「犬上郡」等とあった場合、目録上での重複を避けて省略した。近代以降の文書については、番地表記等も同様に省略している。

一、差出・宛名について、史料に複数の名前が列記されている場合には、原則として先頭の1名だけを取り、それ以外については「他x名」と省略した。

一、戸籍に関する史料については、閲覧不可とし、備考欄にその旨を記した。

一、目録順については、分類編年順に配列した。

一、配列にあたっては、一括関係を崩さないことを原則としたため、編年順よりも一括関係を優先させた箇所もある。一括の中で編年した上で、その最も古い文書の年月日で全体の配列の中に組み込んだ。

一、次の一括関係については、文書ごとの内容を考慮して、目録の分類上崩さざるを得なかった。ただし、実際の文書自体は保管にあたって一括の状態を保っている。

・286に挟込一括287～293

また、搬入時の箱一括情報は目録に記載されておらず、目録上では一括を崩しているため、念のため次に記す。

・紙箱一括2～119、箱一括120～132、箱一括133～194、箱一括195～249、箱一括250～264、箱一括265～270、箱一括271～279

一、分類項目は、「経営」「団体」「家産」「家」「写真」「民俗資料」とした。

また、以下に項目の特記事項を記す。

経営・・・伊藤長兵衛商店及び伊藤長合資会社に関するものを収めた。

団体・・・財団法人崇信報恩会や芦屋仏教会館、芦屋文化協会等、伊藤長兵衛家が運営にかかわったと思われる団体のものを収めた。

家産・・・伊藤長兵衛家の資産にかかわるものを収めた。

家・・・伊藤長兵衛家の資産に係る史料以外の、婚礼をはじめ家族親族に関するもの、伊藤長兵衛家同族会に関するものなど。家憲等もここに含めた。

一、本文書の整理及びデータ入力等は浅井雅が行い、目録の作成は南田孝子が担当し、宇佐美英機名誉教授が監修した。

経 営

年 月 日	文 書 名	備 考	員数	請求番号
大正3年12月26日	総勘定元帳貸借対照表	(伊藤長兵衛→)、～大正10年	1冊	250
大正5年後期	㊦計算帳	伊藤長兵衛博多店→、～昭和18年、〔株式計算表〕・〔大阪毎日新聞1・2面株式現況記事〕(昭和17年5月1日)等5点を挟込	1冊	192
大正7年2月21日	総勘定元帳貸借対照表	伊藤長兵衛→、～大正10年	1冊	251
昭和9年6月28日	伊藤長合資会社議事録	～昭和21年3月10日、「登記簿抄本(本店の住所変更)」(昭和19年1月31日、神戸区裁判所芦屋出張所裁判所書記武村喜義→)を挟込	1冊	163
昭和10年7月1日	伊藤長合資会社定款(参考写)	伊藤長兵衛・伊藤太郎・伊藤孝三・伊藤君・伊藤よしの→	1冊	162
昭和10年7月1日	伊藤長合資会社定款	伊藤長兵衛・伊藤太郎・伊藤孝三・伊藤君・伊藤よしの→、「伊藤長合資会社臨時社員総会決議録」(昭和15年1月28日と同2月23日の2冊)を合綴、157～161を挟込	1綴	156
昭和15年2月14日	手数料計算書	神戸地方裁判所管内公証人西田与作→芦屋字芦原伊藤長兵衛、156に挟込一括157～161	1通	160
昭和15年2月26日	同意書(出資金持分の変更)	伊藤長合資会社無限責任社員伊藤長兵衛・同伊藤孝三・同伊藤太郎・有限責任社員伊藤君・同伊藤よしの・同伊藤誠三・誠三未成年者につき親権者実父伊藤孝三→	1冊	161
昭和19年1月20日	同意書(資本減少につき)	伊藤長合資会社無限責任社員伊藤長兵衛・同伊藤太郎・有限責任社員伊藤君・同伊藤よしの・同伊藤誠三→、封筒一括157～159	1通	159
昭和19年2月12日	許可通知書(資本減少の件)	日本銀行大阪支店長島居庄蔵→伊藤長合資会社	1通	158
昭和19年3月9日	合資会社変更登記申請書	兵庫県芦屋市船戸町伊藤長合資会社無限責任社員伊藤長兵衛・同伊藤太郎・大阪市東区北浜5丁目右代理人中野斌→神戸区裁判所芦屋出張所、委任状・許可通知書を合綴	1綴	157
昭和10年7月5日	所有有価証券元帳	伊藤長合資会社→、～昭和24年、「所有不動産元帳」(朝鮮農場)を含む	1冊	253
昭和11年	昭和十年度事業報告書(昭和10年7月1日～11年6月30日)	伊藤長合資会社代表社員社長伊藤長兵衛・代表社員伊藤太郎・代表社員伊藤孝三→	1冊	147
昭和12年3月10日	昭和十一年度事業報告書(昭和11年7月1日～12年2月28日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤長兵衛・同伊藤太郎・同伊藤孝三→	1冊	148
昭和15年3月10日	昭和十四年度事業報告書(昭和14年3月1日～15年2月29日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤長兵衛・同伊藤太郎・同伊藤孝三→	1冊	149
昭和16年3月10日	昭和十五年度事業報告書(昭和15年3月1日～16年2月28日)	伊藤長合資会社代表社員(印「長兵衛印章」)・同伊藤太郎・同伊藤孝三→	1冊	150

経 営

年 月 日	文 書 名	備 考	員数	請求番号
昭和17年3月10日	昭和十六年度事業報告書(昭和16年3月1日～17年2月28日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤太一郎→	1冊	151
昭和18年3月10日	昭和十七年度事業報告書(昭和17年3月1日～18年2月28日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤長兵衛・同伊藤太一郎→	1冊	152
昭和19年3月10日	昭和十八年度事業報告書(昭和18年3月1日～19年2月29日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤長兵衛・同伊藤太一郎→	1冊	153
昭和20年3月10日	昭和十九年度事業報告書(昭和19年3月1日～20年2月28日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤長兵衛・同伊藤太一郎→	1冊	154
昭和21年3月10日	昭和二十年度事業報告書(昭和20年3月1日～21年2月28日)	伊藤長合資会社代表社員伊藤長兵衛・代表社員伊藤太一郎→	1冊	155
昭和30年7月25日	〔社内報『まるべに』綴〕(27～53号)	～昭和32年9月25日、丸紅株式会社(29号から丸紅飯田株式会社)→、50号欠、28号に「普通電報日本発電時間・世界主要地到着時間対比表」を挟込	1綴	165

団 体

年 月 日	文 書 名	備 考	員数	請求番号
昭和2年6月5日	芦屋仏教会館と其使命	編輯者山西喜一郎→、発行所芦屋仏教会館	1冊	166
(昭和10年)	助成先附属書類刺(崇信報恩会)	～昭和29年、履歴書や戸籍を含む	1冊	171
昭和11年4月5日	感謝のことは(花祭に際し)	崇信日曜学校生徒総代土田武男→会長、包紙	1通	4
(昭和12年3月25日)	財団法人崇信報恩会寄附行為	設立趣意書・寄附行為1～5章・財産目録・助成規定を記す、1冊目に「生命保険金明細書(受取人伊藤君)」を挟込	73冊	168
(昭和12年4月11日)	昭和十二年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→、紐一括174～191	2冊	191
(昭和13年3月22日)	昭和十三年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	3冊	189
(昭和14年3月24日)	昭和十四年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	2冊	187
(昭和14年4月5日)	昭和十三年度歳入出決算書	財団法人崇信報恩会→	3冊	190
(昭和15年3月27日)	昭和十五年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	2冊	185
(昭和15年4月5日)	昭和十四年度歳入出決算書	財団法人崇信報恩会→	3冊	188
(昭和16年3月21日)	昭和十六年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	3冊	183
(昭和16年4月5日)	昭和十五年度歳入出決算書	財団法人崇信報恩会→	2冊	186
(昭和17年3月24日)	昭和十七年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	1冊	181
(昭和17年4月5日)	昭和十六年度歳入出決算書	財団法人崇信報恩会→	3冊	184

団 体

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
(昭和18年3月20日)	[普通財産の部有価証券損益勘定書類綴]	財団法人崇信報恩会の罫紙使用	2綴	180
昭和18年3月28日	昭和十八年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	4冊	178
(昭和18年4月5日)	昭和十七年度歳入出決算書	財団法人崇信報恩会→	3冊	182
(昭和19年3月27日)	昭和十九年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→	1冊	175
昭和19年3月28日	昭和十九年度歳入出予算	財団法人崇信報恩会→、表紙書込「三興本社田中様へ」とあり、下書きか	1冊	176
(昭和19年4月5日)	昭和十八年度歳入出決算書	財団法人崇信報恩会→、うち2冊は昭和17年度分を訂正した下書(うち一冊に2枚挟込あり)、他1冊に〔住友金属工業株式会社売却等追加報告記〕を挟込	5冊	179
(昭和20年)	[昭和十九年度歳入出決算並びに二十年度予算関係書類綴]		1綴	177
昭和19年	公益法人報告事項二関スル件	文部省教学局長→	1通	174
昭和12年～	諸官署提出書控刺	財団法人崇信報恩会→、～昭和19年、歳入出予算・決算・登記簿等、一部閲覧不可	1冊	169
昭和12年	助成金領収書刺(崇信報恩会)	～昭和18年	1冊	170
昭和12年～	[歳入出予算・決算書類綴]	財団法人崇信報恩会→、～昭和19年度	1綴	172
昭和13年4月10日	感謝の言葉(花祭に際し)	芦屋仏教会館崇信日曜学校代表吉岡宏次郎→伊藤会長、包紙	1通	2
昭和14年4月9日	感謝のことば(花祭に際し)	崇信日曜学校生徒代表→伊藤会長、包紙	1通	17
昭和15年4月7日	感謝の辞(花祭に際し)	芦屋仏教会館崇信日曜学校生徒代表石垣文生→伊藤会長、包紙	1通	15
昭和15年～	[財団法人武田塾・中央教化団体連合等崇信報恩会助成先事業計画・決算書類綴]	～昭和18年度、前川慈修会財団の資料もあり	1綴	173
昭和17年4月12日	感謝の言葉(花祭に際し)	財団法人芦屋仏教会館崇信日曜学校代表水原淑子→故伊藤会長、包紙	1通	16
昭和21年6月23日	記録(芦屋文化協会設立発起人会からの活動)	～12月	1冊	134
昭和21年12月15日	芦屋文化協会々報 第壹号	発行所芦屋市前田町芦屋文化協会	1冊	167
昭和22年12月21日	[昭羊会主催クリスマス懇親舞踏会芳名録]		1冊	133
4月7日	感謝状(花祭に際し)	崇信日曜学校代表岩本小波→伊藤会長、包紙	1冊	3

家 産

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
(明治33年12月13日)	有価証券帳(株式、出資、所有土地家屋、生命保険契約)	伊藤長本家→、～昭和15年、「大阪朝日新聞」(昭和15年5月1日)を挟込	1冊	252

家 産

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
大正11年 5 月	累年財産目録	伊藤長兵衛→、～昭和14年、〔会社出資分金額・株数等書上〕「大阪朝日新聞」(昭和14年 5 月12日)等 6 点を挟込	1 冊	193
大正15年12月17日	不動産売買契約証(兵庫県武庫郡精道村芦屋字芦原田)	売主兵庫県武庫郡精道村芦屋字西新田植木米蔵・買主兵庫県武庫郡精道村芦屋字毛賀金伊藤長兵衛代理人仁木次郎→、封筒一括138～146	1 冊	138
大正15年12月24日	領収証(土地代金差額)	売主植木米蔵→伊藤長兵衛	1 通	139
大正15年12月24日	受領証(土地売買書記料・印紙代)	雑喉事務所→伊藤	1 通	140
大正15年12月24日	〔精道村芦屋字芦原に係る土地登記申請書類等綴〕	～昭和42年、伊藤長兵衛が植木米蔵より買った土地を伊藤太一郎に譲渡、不動産売渡証・登記申請書・戸籍抄本(閲覧不可)等を綴る	1 綴	146
昭和 2 年 8 月12日	〔書簡〕(地目変換届調印願)	武庫郡精道村芦屋第三耕地整理組合事務嘱託西工務所→伊藤長兵衛	1 通	142
昭和 5 年 4 月 9 日	〔受領証一括〕(土地登記書記料等)	司法代書人雑喉竹松→伊藤	2 通	141
(昭和42年)	委任状(抵当権設定のため谷田乙松を代理人として登記申請)	芦屋市船戸町伊藤長兵衛→	1 通	143
(昭和42年)	委任状(抵当権設定のため谷田乙松を代理人として登記申請)	芦屋市船戸町伊藤太一郎→	1 通	144
— — —	〔葉書〕(登記申請内容につき確認)	兵庫県芦屋市公光町神戸地方務局芦屋出張所登記官瀬尾八郎右衛門→芦屋市船戸町伊藤太一郎	1 通	145
昭和15年 3 月11日	〔不動産贈与証書等綴〕	豊郷村大字八目伊藤長兵衛→伊藤孝三、「不動産贈与承諾証書」(同日、兵庫県武庫郡精道村芦屋字芦原伊藤孝三→伊藤長兵衛)を合綴	1 綴	290
昭和15年 5 月 1 日	所有有価証券元帳(生命保険証券・国債・所有不動産等)	伊藤長兵衛→、～昭和22年、「有価証券日報」4 紙他 3 通を挟込	1 冊	254
(昭和19年)	諸様式関係書綴(登記・土地売渡等不動産関係)	小林→、～昭和25年	1 綴	121
昭和19年	〔本家出納帳〕	～昭和37年、不動産・資産税納付等も記載あり、「売原簿」の帳簿を転用、新聞紙上書「伊藤本家記憑書類」・紐一括195～205	1 冊	195
昭和24年	土地台帳 課税台帳	～昭和39年	1 冊	202
昭和25年 5 月 3 日	犬上郡豊郷村大字八目地籍図	54.2×75.5、小林宗十郎→、「役場ニテ写ス」とあり、袋一括204～205	1 点	204
(昭和35年)	要求地代に対する関連諸物価の比率価額	昭和23～35年分のグラフ	1 点	205
昭和25年12月 1 日	土地賃貸契約書(農地)	〔小作料の改定票綴〕(昭和30年)を合綴	1 冊	197
昭和25年	諸控(土地関係書類綴)	～昭和42年、〔崇徳保育園園舎竣工式典案内状〕(昭和12年 1 月15日、財団法人崇徳会藤野宗一他 1 名→伊藤長兵衛)を綴込	1 綴	196
昭和25年	地代調定表 未納問題	～昭和39年	1 冊	200
昭和28年10月 1 日	上田庄七氏関係(新幹線用地等土地売買)	～昭和37年	1 冊	201
(昭和35年)	要求地代に対する関連諸物価の比率価額	昭和23～35年度分のグラフ	1 点	199

家 産

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
昭和40年9月9日	大字八目土地見取図		2冊	198
昭和40年	大字八目地図	表紙に「彦根法務局愛知川出張所にて写す」とあり	1冊	203
昭和23年	地代調停一覧表・地代収納一覧表・地代と諸物価との比較表	～昭和35年	1綴	131
昭和24年12月	領収証綴	伊藤本宅→、～昭和35年12月、「伊藤長兵衛代小林宗十郎」宛のものあり	1綴	125
昭和25年	賃借人別地代家賃台帳	伊藤本家→、～昭和34年	1冊	120
(昭和)26年2月25日	豊郷村所在不動産評価表(伊藤長兵衛所有)		1通	289
昭和34年9月4日	領収証書(固定資産税等)	京都市上京区収入役→伊藤長兵衛、封筒一括135～137	1通	137
昭和34年9月7日	申告書写(家屋所有者住所変更・地番訂正)	兵庫県西宮市津門宝津津町申告者伊藤長兵衛代理人大田国三(京都市中京区丸太町通堺町東入鍵屋町大田測量事務所)→京都地方務局	1冊	136
昭和34年9月8日	建物所有権保存登記申請書副本(京都市上京区若松町家屋)	兵庫県西宮市津門宝津津町申請人伊藤長兵衛代理人(司法書士)田口晃次郎→京都地方務局	1冊	135
昭和36年	[土地明渡請求につき民事調停一件書類]	申立人伊藤長兵衛→、相手方大字八目西山浅二他2名、～昭和40年6月	1冊	127
昭和36年	[土地明渡請求につき民事調停一件書類]	申立人伊藤長兵衛→、相手方大字八目楠松三郎他1名、～昭和42年9月	1冊	128
昭和38年	[土地明渡請求につき民事調停一件書類]	申立人伊藤長兵衛→、相手方大字八目染川信行他1名、表紙に「染川二冊ノ内の二」とあり、昭和26年からの「地代内入書」あり	1冊	126
昭和39年	[株式関係新聞記事等綴]	[タイプライター代請求書](昭和35年12月)を挟込	1綴	129
昭和40年5月20日	土地台帳・地積図(豊郷村大字八目)	財団法人豊郷済美会のものあり	1綴	122
昭和40年9月9日	犬上郡豊郷村大字八目土地見取図		1冊	130
昭和40年9月	土地管理(土地評価額等関連書類)	～昭和42年10月	1綴	123
昭和43年	土地売買契約書(写)	3件分、「売渡人 伊藤長兵衛」とあり	1綴	124
---	[未使用便箋]		3冊	132
---	課税価格計算の基礎となる財産の価額及び債務の金額の明細書	申告者伊藤長兵衛→	1通	288

家

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
明治41年3月1日	組員之証	有限責任厚生社信用販売購買組合→豊郷村大字八目伊藤長兵衛	1通	291

家

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
大正9年10月11日	出資証券	有限責任三ツ池信用販売購買生産組合組合長理事北川嘉平他1名→ 組合員伊藤長兵衛	1通	292
大正12年12月8日	出資証券	有限責任灘購買組合組合長理事那須善治→伊藤長兵衛	1通	293
大正14年3月19日	目録(熨斗・末広・丸帯等受納)	若林乙吉→伊藤長兵衛、封筒一括40~48	1通	41
大正14年4月29日	目録(伊藤忠兵衛・伊藤忠三等親族へ末広・真綿など)	包紙上書「御親戚目録」一括42~43	1通	43
---	[伊藤君家族・親族書]		1通	42
昭和4年9月	目録(熨斗・末広・羽織袴等)	伊藤長兵衛→中村芳三郎、包紙	1通	40
---	仕訳目録(総桐小袖筆筒・料紙文庫等)	包紙一括44~45	1冊	44
---	[伊藤恵美子家族・親族書]		1通	45
---	[包紙]	上書「受納書」、破損	1枚	46
---	案内状送付先(伊藤家の分)	封筒上書「恵美子結婚式費用」一括47~48	1通	47
---	[料理人数・費用等書付]		1通	48
大正15年10月29日	戸籍抄本(中村芳三郎)	東京市日本橋区長川島一郎→、封筒上書「中村幸吉 蓉子 結婚関係書類」一括93~119、封筒一括96~102、閲覧不可	1通	99
昭和15年5月	家族名簿(伊藤長兵衛家9名)		1通	97
昭和15年5月	家族名簿(伊藤太一郎家6名)		1通	98
昭和16年12月17日	戸籍抄本(伊藤長兵衛)	豊郷村長宮崎丈助→、閲覧不可	1通	100
昭和40年	[『40年版全日本紳士録』購読依頼状]	人事興信所取締役社長武内甲子雄→、伊藤長兵衛記事切抜きの貼付けあり	1通	101
---	[伊藤長兵衛記事切抜き]	『全日本紳士録』か、101貼付分に同じ	2枚	96
昭和42年1月23日	身上連絡票ゴ記入才願イノ件(OBとの連絡を緊密にしたため)	丸紅飯田株式会社取締役国内事業部長中島悌一→伊藤長兵衛	1通	102
昭和41年1月	[中村幸吉・柴田蓉子結婚披露宴案内]	中村たま子・柴田浩嗣→	1通	94
昭和41年2月10日	献立(中村・柴田両家結婚披露宴)	「「都ホテル」にて」とあり	1部	95
(昭和41年)2月10日	[結婚式新郎方参列入書上]		1通	104
昭和41年2月11日	[書簡](結婚につき粗品送付、下書)	中村幸吉(中村蓉子)→	1通	103
8月6日	釣書(中村幸吉)	能ト川町本町1 中村たま子→西宮市今津津門宝津伊藤長兵衛、封筒	3通	93
---	[柴田家親族書]		2通	105
---	[両親氏名住所書付]		1通	106
---	[挨拶・乾杯・祝辞役人名と肩書書上]		1通	107
---	[中村幸吉家族書]		1通	108

家

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
---	[出席者名簿]		1通	109
---	[出席者・引出物数書上]		1通	110
---	[中村芙美子家族・親族書]		1通	111
---	[中村幸吉関係家系図]		1通	112
昭和43年	[「現代財界家系譜」発行について]	封筒上書「兵庫県芦屋市船戸町 伊藤長兵衛様 親展 発売所常盤書院」一括113~118	1枚	113
(昭和43年)	[「現代財界家系譜」内容見本]		1部	114
---	本書に掲載される家系一覧		1枚	115
---	関連記事掲載(伊藤長兵衛・忠兵衛関連系図)		1枚	116
---	[葉書](「現代財界家系譜」申込書)		1通	117
---	払込票		1枚	118
---	[封筒]	旭硝子株式会社→	1枚	119
昭和3年2月1日	軍隊手牒(中村孝三)	～同年11月30日、誓文・兵歴等載せる	1冊	283
昭和4年9月	受納書(目録之通)	中村芳三郎→伊藤長兵衛、包紙	1通	22
昭和5年4月15日	司婚の辞(中村孝三・伊藤君の婚儀)	包紙	1通	5
昭和5年4月15日	告仏表(中村孝三・伊藤君婚儀)	司婚稲田静雄→、包紙	1通	13
昭和5年4月15日	目録(御仏前御香)	中村芳三郎→伊藤長兵衛、包紙	1通	28
昭和5年4月15日	目録(熨斗・末広等)	中村英太郎・安藤与惣次郎・中村治輔・高橋邦太郎・高橋要治郎・谷鎌次郎→伊藤長兵衛、包紙	1通	31
昭和5年4月	受納書(目録之通)	中村芳三郎→伊藤長兵衛、包紙	1通	23
昭和5年4月	目録(熨斗・末広・小浜縮緬等)	中村芳三郎→伊藤長兵衛、包紙	1冊	27
昭和5年4月	目録(父・伯母・太一郎・よしの・栄子・和一各人へ末広・羽二重等)	中村芳三郎→伊藤長兵衛、包紙	1冊	29
昭和5年4月	持参品目録(男箆笥・掛軸等)	中村芳三郎→伊藤長兵衛、包紙	1通	30
昭和9年6月28日	伊藤長同族会議事録	～昭和19年3月1日、「長同名義分明細書」(昭和16年12月1日、1通)・〔改名許可書〕(昭和15年3月23日、滋賀県知事平敏孝→)・〔住所寄留簿抄本〕(昭和15年2月、兵庫県武庫郡精道村長大利市右エ門)・部分下書1通を挟込	1冊	164
(昭和9年7月1日)	伊藤家家憲	家長伊藤長兵衛・同族会員伊藤太一郎他3名→、「宣誓」・「家訓」を含む	1冊	286
昭和13年8月	目録(丸紅商店株券進呈)	伊藤孝三・君→中村両親、包紙一括6～11	1通	7
昭和17年3月29日	御受(孝三遺志により三興株式会社株式寄贈)	財団法人芦屋仏教会館理事長安田孝七→伊藤君	1通	6

家

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
昭和17年3月29日	受納証(先代長堂翁遺志により国庫債券寄付)	豊郷村大字八目区長伊藤栄吉→伊藤長兵衛、包紙	1通	8
昭和17年3月29日	受納証(先代伊藤長堂氏遺志により若林製糸紡績株式を寄付)	豊郷村八目財団法人豊郷病院理事長藤野宗次郎→伊藤長兵衛・伊藤君、封筒一括9~11	1通	9
昭和17年3月29日	受納証(先代長堂氏の遺志により支那事変国庫債券寄付)	豊郷村役場内三ツ池崇徳財団理事長藤野宗次郎→伊藤長兵衛	1通	10
昭和17年3月29日	受領証(先代長堂氏の遺志により国庫債券と映写機を豊郷国民学校へ寄付)	豊郷村長宮崎丈助→伊藤長兵衛	1通	11
昭和14年10月	御受(釈尼貞向信女遺志により金員寄贈)	財団法人芦屋仏教会館→安満重太郎、包紙	1通	12
昭和15年2月23日	[伊藤家家憲改正条々]	家長伊藤長兵衛→	1冊	287
昭和30年3月	目録(髪斗・末広・小袖料等)	浜崎弥助→伊藤長兵衛、包紙	1通	37
昭和30年5月	御受(衣装箆笥・長持等)	浜崎弥助→伊藤長兵衛、包紙	1通	36
昭和39年5月29日	電報(結婚祝)	ウメハラシンリュウ(梅原真隆先生)→ツドホウズチヨウ56イトウチヨウベイ、封筒上書「信吉 秀子 結婚披露」一括49~92、封筒一括57~89	1通	64
昭和39年5月29日	電報(結婚祝)	カモゴウジユン(加茂仰順先生)→ツドホウズチヨウ56イトウチヨウベイ	1通	66
昭和39年5月29日	電報(結婚祝)	HAMBURG MARUBENI DOITSUGAISYA→SHINKICHI ITOH KEKKONSHIKIJOO OSAKA、複写物	1通	81
昭和39年5月29日	電報(結婚祝)	WASHINGTON MR AND MRS HASHIMOTO→SHINKICHI ITO HOTEL SHINOSAKA	1通	85
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	トウキョウイマヅミ→イタミホンマチ5ノ522タケウチヒデコ	1通	57
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	イタミシモイチ→イタミホンマチ5ノ522タケウチヒデコ	1通	59
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	カゴシマチビ→イタミモトマチ5チヨウメ5ノ522タケウチヒデコ	1通	62
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	オオサカニチメンリヨウソウラガーコウベダイガクラグビーブ→ナカノシマ3ノ5シンオオサカホテルキツケイトウシンキチ、複写物	1通	72
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	GUATEMALACITY NY32 KOBAYASHI→SHINKITI ITOH	1通	79
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	BUENOSAIRESNITE ITOTAICHIRO→新大阪ホテルITOCHOBEI	1通	80
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	LONDON NAKAGAWA→SHINKICHI ITOH SHINOSAKA HOTEL OSAKA	1通	82
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	ST GALLEN,CHRISTIAN FISCHBACHER・ERNST TSCHUMPER→NEW OSAKA HOTEL OSAKA ITOH、複写物	1通	83
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	NEWYORK MENPUITIDOO→OSAKA SINKICHI ITO	1通	84

家

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	RANGOON SEKIGUCHI→SHINKICHI ITO OSAKA	1通	86
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	ACCRA KARAKIZAWA→SHINKICHI ITOO SHIN HOTEL OSAKA	1通	87
昭和39年5月30日	電報(結婚祝)	MARUBENI BRUXELLES KAWAUCHI→SHINKICHI ITOH SHINOSAKA HOTEL OSAKA	1通	88
昭和39年5月30日	OFFICIAL ADVICE	LONDON→新大阪ホテル気付 SHINKICHI ITOH	1通	89
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	エウラヨシコ・ワダキヌ→ナカノシマ3ノ5シンオオサカホテルキツケタケウチヒデコ	1通	58
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	イタミノノ→ドウジマシンオオサカホテルタケウチヒデコ	1通	60
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	トウキョウオオタ タキミキコ→オオサカシシンオオサカホテルタケウチヒデコ	1通	61
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカフチジサトウギセン→ナカノシマシンオオサカホテルキツケイトウチヨウベエ	1通	63
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	トヨサトムラギシミネキチ→ナカノシマシンオオサカホテルナイイトウシンキチ	1通	65
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	マルベニヒヨウゴミノル→ナカノシマ3-5シンオオサカホテルキツケイトウシンキチ	1通	67
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカチヨクユウニカー同→シンオオサカホテルイトウシンキチ	1通	68
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカトクシユメンプカー同→ナカノシマ3ノ5シンオオサカホテルイトウシンキチ	1通	69
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカマルベニエンドウモリタロウ→ナカノシマシンオオサカホテルイトウシンキチ	1通	70
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカフジカワガロウシヤインイチドウ→ソウゼチヨウシンオオサカホテルキツケイトウチヨウベエ	1通	71
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカカシハラシズコ(柏原しづ子)→ツトホウズチヨウ56イトウチヨウベエ	1通	73
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカマルベニオノ→ドウジマシンオオサカホテルイトウシンキチ	1通	74
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	トウキョウムラカワー三フジコ→シンオオサカホテルカイクンキツケイトウチヨウベエ・シンキチ	1通	75
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	オオサカジュウソウゴルフセンタージュウギヨウインイチドウ→ナカノシマシンオオサカホテルイトウ	1通	76

家

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	トウキョウモリナガヒデ→シンオオサカホテルカイカンキツケイトウチヨウベイ	1通	77
昭和39年5月31日	電報(結婚祝)	トヨサトハチメクミ一同→ナカノシマシンオオサカホテルイトウチヨウベイ	1通	78
(昭和39年5月31日)	結婚式挙行申込書(伊藤信吉・武内秀子、控)	伊藤長兵衛→新大阪ホテル	1通	49
---	[伊藤長兵衛経歴・系図控]		1綴	50
---	[伊藤信吉・伊藤長兵衛の経歴・系図控]		1綴	51
---	[伊藤長兵衛家等系図]		2通	54
---	[家族・親族書上控]		1綴	53
---	式参列者(信吉側)		1綴	52
---	[招待者等名簿一括]		3通	55
---	[披露宴座席カード一括]		15枚	56
---	御結納の扱い方	大阪高麗橋三越→	1枚	90
---	結納のしおり	本店大阪市東区高麗橋一丁目渋谷利兵衛商店→	1枚	91
---	婚礼儀式について	本店大阪市東区高麗橋一丁目渋谷利兵衛商店→	1冊	92
昭和39年5月	御受(熨斗・末広・小袖料等)	武内利平→伊藤長兵衛、包紙	1通	32
昭和39年5月	荷物目録(衣装箆筒・羽織箆筒・グランドピアノ等)	武内利平→伊藤長兵衛、包紙	1通	33
14年7月	[白馬岳登山記念スタンプ帳]		1冊	194
---	賦典(哀悼の詩と和歌)	包紙上書「御霊前 釈丁海」	1通	14
---	[熨斗袋]	上書「御着帯御祝 武内利平」、水引	1枚	18
---	[熨斗袋]	上書「御出産御祝 武内」、内袋上書「金拾万円也」、水引	1枚	19
---	[熨斗袋]	上書「酒肴」、水引	1枚	20
---	[熨斗袋]	上書「小袖」、水引	1枚	21
---	家族書(中村孝三家)	包紙	1通	24
---	親族書(中村家親族)	包紙	1通	25
---	目録(君・恵美子へ贈与金)	伊藤長兵衛→保護者伊藤孝三、包紙	1通	26
---	家族(武内利平娘秀子家族書)	包紙	1通	34
---	親族(武内家親族書)	包紙	1冊	35
---	家族(浜崎弥助家族書)	包紙	1通	38
---	親族(浜崎家親族書)	包紙	1通	39

写真

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
大正10年3月	也満千(丸紅商店設立記念帳)		2冊	255
大正10年3月	也満千(丸紅商店設立記念帳)	255と同じ	1冊	285
(昭和16年)	三興グラフ(アルバム)	阪急西宮球場傍のグラウンドにて三興報国団対抗競技会	1冊	271
(昭和16年)	三興グラフ(アルバム)	見出し上書「三興報国団結成式及運動会 其ノ二」を同梱、箱	1冊	272
(昭和16年)	三興グラフ(アルバム)	三興安土町報国団・三興音楽団等行進、三興株式会社船場支店前の写真あり	1冊	273
(昭和16年)	三興グラフ(アルバム)	三興報国団結成式、272と写真は異なる	1冊	280
(昭和16年)	三興グラフ(アルバム)	報国団対抗競技会等、271と写真は異なる	1冊	281
---	丸紅フォトニュース(アルバム)	丸紅商店京都支店ビルの地鎮祭から竣工まで	1冊	206
---	丸紅フォトニュース(アルバム)	丸紅商店京都支店ビルの竣工祝賀会の様子	1冊	207
---	丸紅フォトニュース(アルバム)	果物狩、会社の記念講演会、大阪坐摩神社での軍事行事、相撲、興亜奉公日制定記念式等	1冊	270
---	[株式会社丸紅商店京都支店工事概要]	撮影大阪市南区安堂寺橋通三丁目矢田貝写真工房、印刷大阪市西淀川区海老江上四丁目精版印刷株式会社、表紙欠	1冊	284
(大正7年)	[アルバム](芦屋海岸、謙三よりの写真、神社境内での集り、海水浴等)		1冊	267
(昭和2年3月12日)	[アルバム](卒業記念)	神戸高等商業学校校友会の葉書を貼付	1冊	258
(昭和11年5月25日)	[アルバム](伊藤孝三ら登山記念、本家、伊藤家累代墓等)	伊藤八重の写真あり	1冊	268
昭和25年	[アルバム](日本貿易産業博覧会神戸博)	入場券(昭和25年6月6日)1枚を挟込(案内図の裏)、「三興グラフ」のアルバム帳を再利用、綴外れ	1冊	274
昭和25年	[アルバム](阪急西宮球場及び外園にてアメリカ博覧会)	「三興グラフ」のアルバム帳を再利用、綴外れ	1冊	275
---	[アルバム](歌舞伎舞台写真集)		1冊	256
---	[アルバム](ワダ氏等登山及び京都旅行記念・サイン入肖像写真等)		1冊	257
----	[アルバム](大光寺聖徳太子祭)		1冊	259
----	[アルバム](海、洋館、女性)		1冊	260
----	[アルバム](軽井沢・信州旅行)		1冊	261
----	[アルバム](女性モデルのプロマイド集)	函	1冊	262
----	[アルバム](十数組の結婚記念写真)		1冊	263

写 真

年 月 日	文 書 名	備 考	員数	請求番号
---	[アルバム](数组の結婚記念写真)	伊藤長兵衛(長堂)の写真あり、孝三と君の結婚写真を含むか	1冊	264
---	[アルバム](渓谷、湖、洋館、人物等)	長兵衛(長堂)及びその家族の写真を含むか	1冊	265
---	[アルバム](渓谷、洋館、人物、工場等)	長兵衛(長堂)及びその家族の写真を含む、綴外れ	1冊	266
---	[アルバム](芝居舞台、運動会、芦屋仏教会館、園遊会、工場、本宅雪景色、雛人形等)		1冊	269
---	[アルバム](志摩旅行)	函	1冊	276
---	[アルバム](崇徳保育園運動会)		1冊	277
---	[アルバム](城観光)		1冊	278
---	[アルバム](山林、田圃、ダム等風景)	表紙に「ライカ研究会」とあり	1冊	279
---	[アルバム](伊藤忠三等海外旅行)	戦前の中国か、水墨画の写真や色付け写真等あり	1冊	282
明治40年	[若林製糸場園遊会記念写真]	彦根土橋町加藤天照堂→	1点	215
明治42年3月	[豊郷尋常高等小学校卒業記念写真]	彦根土橋町加藤天照堂→	1点	214
(明治45年3月8日)	[黒谷廟前にて親近会紀年写真]	京都堀真澄→、台紙裏に波華方外による文章を記す	1点	216
大正4年11月10日	[恩賜養老杯拝戴記念写真]	彦根伊賀町林専一→	1点	217
(大正5年4月9日)	[㊦春季運動会写真]	博多東公園松風軒→、台紙裏に「東公園池畔ニ開催、幹事清水太三郎・同神鳥直次郎」とあり	1点	213
大正5年5月27日	[結婚記念集合写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→、台紙裏に「伊藤長兵衛様」とあり、219と同じ写真	1点	218
大正5年5月27日	[結婚記念集合写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→、台紙裏に「伊藤栄次郎様」とあり	1点	219
大正5年6月	[結婚記念写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→、台紙裏に「伊藤茂八郎 同須磨子夫人」とあり	1点	209
(大正6年4月8日)	[振袖立姿女性写真]	京都堀真澄→、台紙裏に「田附三子 十五才」とあり	1点	212
大正6年11月18日	[誓文晴大売出し景況記念写真]	博多古川写→、㊦紅屋呉服店店先が写る	1点	220
(大正7年1月21日)	[結婚記念写真]	大阪S.Yuki→、台紙裏に「福永善太郎 清子」とあり	1点	210
大正8年6月	[和服男性写真]	台紙に「贈伯父上様」とあり	1点	211
大正8年9月10日	[8月1日開店記念写真]	大阪塩町田村→、㊦の提灯写る、台紙裏に「支店長清水太三郎 宇野嘉蔵 松村重七 小林益吉」とあり	1点	221
大正12年10月21日	[集合写真]	彦根町梶写真館林→	1点	222
(大正14年9月)	[琵琶湖一周マラソン競争集合写真]	彦根町梶写真館林→	1点	241
(昭和3年11月9日)	[結婚記念写真]	フォルダー表紙に「於平安神宮謙三冬子 結婚挙式記念撮影」とあり	1点	208
---	[博多祇園山笠追山馴写真]	台紙表に「H.Baba」裏に「㊦博多店撮影 万行寺前の景」とあり	1点	223

写 真

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
---	[和服女性肖像写真]	彦根町梶写真館S.HAYASHI→	1点	224
---	[溪流写真]	彦根佐和山下精美館→、小さく人物が写る	1点	225
---	[地鎮祭写真]	彦根伊賀町梶写真館林→、鍬入れ場面	1点	226
---	[地鎮祭写真]	彦根伊賀町梶写真館→、祝詞の場面	1点	227
---	[建物縁・庭写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→	1点	228
---	[弓道場写真]	弓を引く人物を中心に写す	1点	229
---	[屋敷外観写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→	1点	230
---	[神事写真]	彦根二番町精美館貫名豊蔵→、袋	1点	231
---	[工場内写真]	児島味野町岩崎→	1点	232
---	[集合写真]	彦根土橋町加藤天照堂→、豊郷小学校か	1点	233
---	[男性集合写真]		1点	234
---	[結婚記念集合写真]	京都堀真澄→	1点	235
---	[渡辺呉服店先写真]	暖簾に「群山府栄町刃渡辺呉服店」とあり	1点	236
---	[集合写真]	彦根町梶写真館林→、白衣の人物も写る、豊郷病院か	1点	237
---	[祭礼写真]	彦根貫名精美館→	1点	238
---	[行列遠景写真]	群山古川→	1点	239
---	[行列遠景写真]	群山古川→	1点	240
---	[神社祭礼全景写真]	彦根土橋町加藤天照堂→	2点	242
---	[祭礼写真]	彦根土橋町加藤天照堂→、袴・笠着用での行列	1点	243
---	[祭礼写真]	彦根土橋町加藤天照堂→、乗馬人の行列	1点	244
---	[祭礼写真]	彦根土橋町加藤天照堂→、羽織・袴・帽子姿での行列	1点	245
---	[祭礼写真]	彦根土橋町加藤天照堂→、中州にて写すか	1点	246
---	[剃髪女性正座写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→	1点	247
---	[記念写真]	彦根伊賀町梶写真館林専一→、屋外に机を並べ人物が横二列に座って並ぶ	1点	248
---	[袋]	彦根町梶写真館→、「代金五円也 トヨサト伊藤長兵衛様」とあり	1枚	249

民俗資料

年 月 日	文 書 名	備 考	頁数	請求番号
---	[伊藤長兵衛幟幕]	約179×958、家紋染付、吊り紐	1点	1

解題

本目録は、滋賀県犬上郡豊郷町八目に所在した伊藤長兵衛家に伝来していた文書群の一部であり、1998年9月に寄贈を受けた「伊藤長兵衛家文書」とは別の場所で2012年以降に発見されたため、「伊藤長兵衛家文書目録（後発見分）」として293点の史料を上梓するものである。伊藤長兵衛家の詳細については、2008年10月発行の『伊藤長兵衛家文書目録』で解説されているので参照されたい。

ここでは、伊藤長兵衛家文書の分散について述べておく。前記刊行目録でも触れているように、伊藤長兵衛本宅の解体（平成6年頃）により、伝来していた史料群は分散したと考えられる。それらはその後、古美術商に渡った史料・旧豊郷病院宿舎に放置されていた史料・伊藤信吉家に保存されていた史料・古川鉄治郎家に放置されていた資料として方々から出現した。

古美術商に渡った史料とは、本学名誉教授の筒井正夫先生により彦根市内の古美術商で発見され、当館に1996年に搬入、1998年に寄贈された「伊藤長兵衛家文書」8089点である（前掲目録参照）。搬入当初は、きちんと整理された状態ではなく、行李に書簡や帳面等が雑然と入っていた。入手経路については不明であるが、『近江骨董紀行 城下町彦根から中山道・琵琶湖へ』（筒井正夫著、新評論、2007）によれば、古美術商ではこの史料を持って余っていて廃棄も考えていたように記述されている。このことから、この史料群は積極的に収集したものではなく、伊藤長兵衛家の古道具等を仕入れた際に付随していた物と考えられる。

次に豊郷病院の宿舎に残されていた史料であるが、これがこの後発見分の大半を占める279点の史料群（請求番号1～279）である。明治期のものもあるが、比較的大正から昭和期のもものが中心で、10代目長兵衛（伊藤孝三）からその子信吉氏の代に継承していた史料や受領・作成した史料である。本宅解体時より後の時期に、当時の住居である阪神地区にあった家宅から豊郷の宿舎に搬入された史料ではないと思われる。この宿舎も解体されることになり、古川博康氏らにより搬出され当館に預かったものである。

その後伊藤秀子氏から宝塚のご自宅に保存されていた史料14点（請求番号280～293）をご寄贈いただき、宿舎で発見された史料と合わせて今回の「伊藤長兵衛家文書（後発見分）」とした。

ほかに、古川鉄治郎家の物置に保管されていた資料として、伊藤孝三の撮影による16mm及び8mm映像フィルムが67巻あり、これも2016年4月に当館へ寄贈された。これらについては2024年3月末に映像のデジタルデータ化が完了し、芦屋での崇信保育園や仏教会館の関連行事のほか、初代伊藤忠兵衛の妻八重や、娘婿伊藤忠三・孝三らが海外視察旅行をしている記録映像などが見られ、貴重な映像資料といえる。

当館蔵の整理済み伊藤長兵衛家関連資料は以上であるが、昨年2023年になって、ヤフーオークションで同家史料を購入したという一般の方から寄贈の申し出があった。この史料については次年度以降整理を進め、追加目録として公開する予定であるが、一覧したところでは当館の「伊藤長兵衛家文

書」の分かれと思われる史料であった。この寄贈予定者によると以前にも伊藤長兵衛家の史料と見受けられるものを同オークションで目にしたと発言されており、この他にも流出した史料があると思われる。今後とも情報収集に努めたい。

(南田 孝子)